

舞台あいさつをする、右から金子さん、深水さん、やべさん、高岡さん、山本又一朗  
プロデューサー



# ゆうばり国際映画祭が開幕

# 北海道新聞

発行所  
北海道新聞社  
郵便番号 060-8711  
札幌市中央区大通西3-6  
電話 011(221)2111  
© 北海道新聞社 2009

# 特集号

インターネットで道新ニュース  
www.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込みは  
0120-464-104

## 夕張も映画も、泣いたり笑ったり。

### 六ヶ所で上映

「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2009」(実行委など主催、北海道新聞社特別後援)のオープニングセレモニーが二十六日午後六時から、ゆうばり市民会館大ホールで行われた。夕張市の財政破綻で中止され、市民の手で昨年二年ぶりに復活した映画祭は、再開二回目の今年も約六百人が会場を埋めた。

今年のテーマは「夕張も映画も、泣いたり笑ったり」。開会式で名誉大会長の藤倉肇夕張市長が「世界で一番、温かい映画祭、映画を通して泣いたり、笑ったり、語り合える映画祭であり続けたい」と話した。実行委員長の沢田宏一・夕張商工会議所会頭が開会を宣言。オフシアター部門の審査委員長の高橋伴明監督や、夫人で釧路管内標茶町出身の女優高橋恵子さんら多くのゲストを紹介し、拍手が上がった。

続くオープニング作品「クローズZEROⅡ」の上映では、出演した若手俳優のやべきょうすけさん、高岡蒼甫さん、金子ノブア

キさん、深水元基さんらが舞台あいさつすると、若い女性ファンなどから大きな歓声が上がった。映画祭では二十八日午



オープニングパーティー恒例のもちつきで映画祭開催を盛り上げるゲストの高橋恵子さん

### 高橋恵子さんら 市民と共にパーティー

後八時から、今年の米アカデミー賞作品賞の「スラムドッグ\$ミリオネア」を上映するなど三月二日までの期間中、七十本以上を上映。また、二十八日午後二時半からは、同映画祭の可能性を話し合うフォーラム「ひと・まち・映画」(北海道新聞社主催)が高橋恵子さんらが参加してホテルシュールパルクで開かれる。

ゆうばり国際ファンタスティック映画祭に訪れた監督や俳優などゲストの映画人と、一般来場者が交流する恒例のオープニ

ンクパーティーが二十六日、市内のホテルシュールパルクで開かれた。ゲスト約百五十人と一般来場者約二百人が歓談して交流を深め、市民主体による復活開催二回目の映画祭開幕を華やかに彩った。はじめに、同映画祭実行委の氏家孝治事務局長が「ようこそ夕張へ。これから夢の五日間が待っている。私たちもみなさんを精いっぱいもてなしたい」とあいさつ。続いて、サッポロビールの戸田勇三北海道本社代表が乾杯の音頭を取ると、来場者たちはコップを高くかかげて映画祭の開幕を祝った。

この後、夕張民謡文化連盟が演奏する中、ステージ上でももちつきが行われた。オープニング作品「クローズZEROⅡ」に出演した俳優のやべきょうすけさん、高岡蒼甫さん、深水元基さん、金子ノブアさんの四人が法被姿で登壇し、もちつききのきねを力強くふるった。北海道出身の女優高橋恵子さんや、タレントのガッツ石松さんもステージに上がり、会場を盛り上げた。

また、来場者たちはカメラを片手にお目当てのゲストを見つけて記念撮影を楽しんだり、映画談議に花を咲かせ、映画祭初日の夜をにぎやかに過ごした。同映画祭では二十六日から五日間の開催期間中に来場者一人を目標として、七十本以上の映画作品が上映される。